

第2学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題（重点項目）	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○順序立てて論理的に話す力や、最後まで集中して話を聞く力の向上。 ○漢字の定着や文章力の向上等、書く技能の習得。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の機会を意図的に増やし、聞き手にとって分かりやすい話し方と誠実な話の聞き方等を指導する。 ・台本やメモを活用し、順序立てて話すための指導を行う。 ・継続的に漢字の指導を行う。間違いは丁寧に直させる。 ・書く順序や段落を意識させる。「始め・中・終わり」についての構成メモ等を活用する。 	
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○めあての確認や自分の考えの説明、学習の振り返り等での、言語活動を通じた思考力の育成。 ○児童同士が意見を比較することによる、共通点や相違点に気付く力の育成。 ○経験を基にした量感の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分の考えを文章や言葉でまとめる活動を取り入れる。また、本時で学んだことを振り返らせ、児童の言葉を生かしてまとめる。 ・少人数グループや、全体での発表や共有する活動を取り入れ、より多くの考えをもたせる。 ・日常生活に根ざした長さやかさ、時間を活用する場面を児童に見出させるなどして、課題との出会いを大切にす。 	
生 活	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方との交流による、社会の一員としての自覚の涵養。 ○生き物や野菜への興味・関心を高め、愛情を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の関わりに関する単元計画を学期ごとに立てる。校外での活動では、感染症対策に十分留意した上で、地域の場所や人との関わりが意識できるよう特に活動や体験の充実を図る。 ・活動での役割を一人一人がもち、集団の一員としての意識を育めるようにする。 ・動植物と直接触れあう場面を設定し、児童の興味、関心を高める。 ・自分がどのように動植物に関わっていくかを考えさせ、主体的に学習に取り組むよう指導を工夫する。 	
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な運動経験を通じた基礎感覚・基礎体力の向上。運動習慣の定着。 ○学習カードの効果的な活用による、思考面と技能面の相乗的な育成。 ○主体的・対話的で深い学びの実現。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な運動を経験して体の動かし方を知ること、児童の基礎感覚や基礎体力を養う。また、サーキットトレーニングや休み時間の遊び等も活用し、運動習慣を身に付けさせる。 ・授業の目標に合わせて学習カードを活用する。選択式や記述式等、形式の工夫をして、児童が自身の成長に気付くようなカードを作成する。 ・児童同士が、互いの良さを認め合える振り返りの場を設定し、学びを深められるようにする。 	

道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやりや協力、規則の遵守の心の育成。 ○劇化や動作化、役割演技等、多様な指導方法を活用した道徳的価値の自覚。 ○学習内容を日常生活に生かす道徳的実践力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づき、児童の実態に合わせ、児童が共感や感動を覚えるような教材を選び、活用する。 ・問題解決的な学習や役割演技などの疑似体験的な表現活動を通して、道徳的価値の理解を深める。 ・授業で日常生活の場面を振り返ったり、日常生活で授業の内容を振り返ったりする等、道徳の授業と道徳教育の関連付けを更に強化する。 	
----	---	--	--